

遠野

市議会だより | NO.5
2006.10.19



すこやか・さんぽ

鱒沢保育所・幼稚園

9月29日に園内の畑で行われた「さつまいも掘り」。こどもたち20人が力いっぱいにつるを引っ張り、さつまいもを掘り起こしました。収穫物は、これから焼き芋やおやつとして食べることになっています。みんな汗をかきながらも、収穫の喜びを分かち合いました。

※表紙：今回から順次、市内の各保育所・幼稚園の行事等の様子を掲載する予定です。

主な内容

8月臨時会
9月定例会

- 平成17年度決算を認定
- 一般質問は14名
- 平成18年度補正予算を可決

17年度全決算を認定

9月定例会

平成18年第5回定例会を9月15日から9月29日までの15日間開催しました。

今定例会は、合併後の議員任期特例期間中最後の定例会となり、一般質問には14人の議員が登壇して、新市の施策全般にわたり質問がありました。

提案された決算10件、条例3件、予算9件、その他3件、人事案件1件、全26議案を原案のとおり認定・可決しました。

最終日には請願1件を採択、意見書2件を可決、また、遠野型ツーリズム調査特別委員会の報告が行われ閉会しました。



議案

- 平成17年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 平成17年度遠野市国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・介護保険特別会計・ケーブルテレビ事業特別会計・浄化槽事業特別会計・宮守町簡易水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成17年度遠野市水道事業会計決算の認定について
- 遠野市乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例及び遠野市母子家庭医療費給付条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市市有林造成基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議について
- 宮守簡易水道小沢浄水場(機械・電気設備)増補改良工事の請負契約の締結について

- 市道路線の変更について
- 平成18年度遠野市一般会計補正予算(第1号)
- 平成18年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)、老人保健特別会計補正予算(第1号)、介護保険特別会計補正予算(第1号)、ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)、浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)、宮守町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)、農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)、下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて 菊池三和子さん(宮守町)

討論

(賛成) 一般会計歳入歳出決算の認定について

細川幸男議員

全員賛成の中で賛成討論は相応しくないがあえて改革を加速していただくための討論であり、決算はあえりあ遠野の委託料に改善が必要と感じるが、全体的には「最少の予算で最大の効果」が生かされており賛成する。

8月臨時会

平成18年第4回臨時会が8月22日に開催され、下記議案を原案のとおり可決しました。

- 宮守エリアケーブルテレビ拡張工事の請負契約の締結について



10月1日行われた新遠野市誕生1周年記念式典

新遠野市の主要課題は



小笠原 隆男 議員

【質問】新市における課題は山積している。特に厳しい人口減少に歯止めをかけるため交流人口をどうやって定住化につなげていこうとするのか。

【市長】相談窓口の一本化やふるさと市民制度の確立、「で・くらす遠野サポート市民会議」を推進母体として取り組む。平成22年度までに定住世帯は37世帯

の増加、ふるさと市民の人口は10,000人を目指す。

【質問】将来の子供たちによりよい教育環境を提供していくため、学校再編を進める必要があると思うが、その取り組み方針は。

【教育長】中学校再編は最重点課題として次世代を担う中学生の「学力・体力・心」のバランスの取れた「生きる力」を伸ばす教育環境の整備・実現に向け全力で取り組む。

【質問】低迷する林業を活性化し、美しい森林をしっかりと後世に引き継いでいくための方針は。

【市長】木工団地を核とした木材産業の振興を図ることにより林業を牽引するような活性化に繋げたい。

前期基本計画の取り組みは



菊池 邦夫 議員

【質問】人口減少のもとで、医療体制の充実はどうなっているのか。特に県立遠野病院はどうか。

【市長】遠野病院の常勤産婦人科医及び市内の医師確保対策に、医師確保担当職員を配置し、充実に向けた取り組みを行ってきたが、依然として厳しい状況にある。

【質問】子育て支援の一環として、「遠野型助産院ネットワーク」を確立することのことがだが、その内容は。また、提言した第三子から第二子への保育料免除措置の検討は、どう進められているのか。

【市長】岩手医科大学、県立中央病院等や市内の医療機関の理解と連携の下にネットワークを確立し、助産師による妊産婦の負担軽減、不安解消に役立てようとするものである。保育料は、旧遠野市と旧宮守村は違っており、統一を図る必要がある。「少子化対策・子育て支援総合プラン」の中で、第三子以降保育料免除を含め検討しており、来年度の当初予算までに結論づけたい。

冬季間の危機管理について



瀧澤 征幸 議員

【質問】遠野市の道路舗装率は、旧宮守村が70%以上だが、旧遠野市は40%にも満たない状況にある。上郷町羽場地区には41世帯あるが、その生活道は実に90%が未舗装となっている。特に冬季間、しばしば通行不能となり緊急事態が発生したときに身動きできなくなる世帯が14世帯もあり、危機管

理上非常に問題である。ライフライン確保は行政責任であり、早急に整備すべきではないか。

【市長】生活に密着した道路の緊急性や優先性を考慮し、順次整備を急ぎたい。国県道を管理する土木センターとの連携を強化し、新たな仕組みを構築したい。

【質問】市内には30代から40代の未婚者が約1,000人と想定されるが、人口減を食い止めるには、地域づくりを見直し、結いとりを復活させ、結婚の促進を行政自ら本腰をいれて行うべきではないのか。

【市長】この10月以降に新体制を構築し、来年度に向けた一定の方向性を導き出したい。本市の最重要課題の一つとして積極果敢に取り組みたい。

遠野病院病棟削減への対応は



小松 大成 議員

【質問】県立遠野病院の病棟削減は病棟の削減のみならず、医師や医療労働者の削減をも意味する。また、患者は現在でも長時間診療待ちの状態である。病棟削減問題に対し遠野市はどのように対応するのか。

【市長】現在の県立遠野病院は、1病棟休止となると70床減の151床となる。

現在の入院患者からすると約30人程度の患者が入院できなくなり、市民の不便や不安が増大する。現病棟の存続や医師確保を含めた地域医療体制の充実を県に働きかける。

【質問】介護保険制度の見直しで、施設利用の負担増が問題になっている。負担増により施設利用を断念せざるを得なくなる状況がある。施設利用を継続できる支援策は。

【市長】市独自の利用者負担の軽減を行っている。また、地域が家族いつまでも元気ネットワーク構想に基づいて地域密着型施設整備を計画的に進める。

【その他の質問項目】

障害者自立支援法施行による影響について

行政と市民の協働について



菊池 一勇 議員

【質問】遠野市総合計画が策定され「行政と市民の協働」が表現されている。市政運営は、市民との相互理解がなければならないが、どのように進めるのか。

【市長】目指すべきビジョンとして、前期計画を策定したが、公募等による市民とのワーキンググループで32のテーマ、71回の会議、

707人の参加によって、意見・提言を具体的に反映した。

自治会等組織との連携や担当の専任職員の配置をし市民協働に努めたい。

【質問】自治体としての、企画・立案が重要である。職員の意欲・能力発揮が不可欠であり、地域間格差が生じないよう、充分能力発揮をしてほしい。方策を伺う。

【市長】やる気・本気・根気のある活動型職員を育成するため、国・県・民間への派遣、研修の実施をはかり、職員の意識改革、人材育成に努めている。課題解決のため、職員とともに研鑽を重ねる覚悟である。

農業振興の取り組みは



石橋 達八 議員

【質問】強い農業づくり、農政改革に対する市の取り組み状況は。

【市長】まずは、意欲ある市内生産者と関係機関が一つでも多くの成功事例を積み重ねることが大切だ。また、集落営農の確立には、発展・進化のため越えなければならないハードルがあるが、あらゆる機会を通じ

周知徹底を行いサポートしていく。

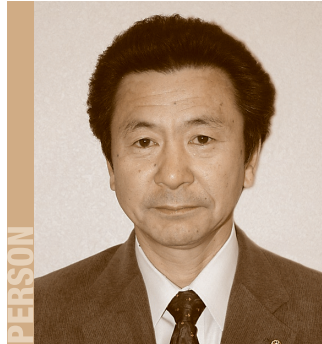
【質問】みやもりホール等観光スポットの活用は。

【市長】みやもりホールをはじめ、mm1、めがね橋等観光スポットの環境づくりについて遠野市観光協会と連携を図りながら検討していきたい。

【質問】人口減少自治体として、田舎暮らし、里山生活等に関心ある人の受け皿づくりを示せ。

【市長】組織として「で・くらす遠野」を立ち上げ、市民サポート制度、遠野郷人会、宮守ふるさと会等との連携の中から定住人口の拡大に努める。また、ふるさと市民制度を創設し、5年間で10,000人を目標として取り組む。

バイオマスタウン構想の推進は



浅沼 幸雄 議員

【質問】本市では、本年3月に農林水産省に対して「遠野市バイオマスタウン構想」を提出しており、その中で「市内の畜産農家等との協働により、バイオガス発生装置の導入と利活用を視野に入れた検討を行う」とあるが、今後具体的にはどのような方法で推進を図るのか。

【市長】当市のバイオマスタウン構想は、遠野市地域新エネルギービジョンにおける、バイオマスエネルギーに関する具体計画として位置づけており、総合計画基本計画において、「耕畜連携による土づくり」や「木質バイオマスや有機性残さを利用した自然エネルギー活用」を図り、自然と環境と産業の融和する「永遠の日本のふるさと」の確立を目指すものであるとしている。利用可能なエネルギーの導入については、イニシャルコスト・市場性・技術開発・ランニングコストなどに総対的に検証を加え調査を行い、その上で検討すべきものとする。

【その他の質問項目】

ブルーベリーの里構想について

宮守プロイハウスについて



菊地 邦 議員

【質問】宮守プロイハウスは、市長が社長に就任し新体制で経営改革に取り組むとの考えだがその内容について伺う。

【市長】売上げは今も前年度を下回り厳しい状況であり、場合によっては一部営業休止も選択肢に入れながら厳しい対応を想定せざるを得ない。債務の処理は財

務状況を精査して、大株主として適切な対応を検討する。地ビールブランドは貴重な地域財産であり、営業譲渡、委託生産などにより存続を考えている。最終的にはプロイハウスの意思決定機関の中で決定される。市所有の株の民間売却は経営内容上難しいと考える。第三セクターについては市全体集中的に10月以降見直しをする体制を取っていく。

【質問】今回の国の介護制度改革での介護認定者が増えないよう予防を重視する対策を伺う。

【市長】本年度から遠野ハートフルプランと合わせて、筋力向上「元気楽しく高齢者体力アップ事業」などを実施している。

地域安全と交通安全について



佐々木 清美 議員

【質問】 地域安全と交通安全のために、踏切の保安施設の遮断機や警報機の無い踏切を利用する市民の安全をどう図るのか。

〔市長〕 日常生活に踏切の通行は不可欠であり、廃止には反対する旨、毎年、住民意向調査に基づく報告をするとともに、引き続き存続されるよう要望している。

【質問】 銀河の森運動公園等の外野フェンスの改修や排水対策等、スポーツ施設の整備管理をどう考えているか。

〔市長〕 今後、全市的な視点に立ったスポーツ施設整備計画を策定し、計画的に整備を進めていきたい。

【質問】 岩手県指定有形文化財である「鞍迫観音堂」前の沢に架かる木橋が腐朽し車両が通れない状況になっている。文化財の有事の際、問題があり橋の改修ができないか。

〔市長〕 橋の改修については、現地で語る会でも要望も受けているが、遠野七観音めぐりなどの観光と併せ、改修に当たっては災害対応ということも念頭におきながら地域の方々との協議を進めたい。

遠野ICの位置は検討中



松田 初 議員

【質問】 東北横断自動車道釜石秋田線の遠野宮守間が、測量、地盤調査に入ったがその進捗状況と今後の進め方は。

〔市長〕 国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所が主体となって、9 km 区間約 12 億円で、道路の中心線測量等調査が実施されている。来年度以降の予定は予備設計に基づき用地範囲を示して、地権者の了解を得て作業の万全を期すこととなる。

【質問】 遠野 IC の場所はどこか。

〔市長〕 東北地方整備局において調査測量等を踏まえ、最も適切な位置を検討しているとのことである。

【質問】 完成時の市勢発展構想構築を。

〔市長〕 多様な人的交流や物的交流のネットワークを図り、観光振興、地場産業振興、産業誘致、新事業の創出など活発な遠野広域経済圏の形成を目指す。腰を据えた観光への取り組みが必要であることから、市観光協会と観光振興を進めることで取り組んでいく。

畜産振興対策について



菊池 充 議員

【質問】 広大な公共牧場をはじめ豊富な草資源や生産環境に恵まれた条件を生かし、今や総農業粗生産額の43%を占める基幹作目の畜産業の更なる振興策として最重要課題である畜産振興公社の業務再編と畜産農家支援策としてのキャトルセンター整備構想について伺う。

〔市長〕 畜産振興公社の業務を大きく分けると放牧業務と馬の里運営に二分される。現在、公社経営改革委員会で放牧部門と馬の里部門の分離協議が進行中であり、今年度中、3月議会までに馬事振興事業経営改革案を取りまとめることとしている。その中では畜産公社を今後の畜産振興施策の中核と位置づけ、改革を図る。キャトルセンターについては、現在検討されている施設であり、肉用牛生産の省力化、効率化には欠かせないものである。総合計画にも搭載されている畜産生産基盤強化事業によって調査計画事業を実施し、置かれている現状、想定される可能性、農家の意向を調査し具体的な将来像を見定めながら計画的に組織、基盤の再編を進めていく。

〔市長〕 畜産振興公社の業務を大きく分けると放牧業務と馬の里運営に二分される。現在、公社経営改革委員会で放牧部門と馬の里部門の分離協議が進行中であり、今年度中、3月議会までに馬事振興事業経営改革案を取りまとめることとしている。その中では畜産公社を今後の畜産振興施策の中核と位置づけ、改革を図る。キャトルセンターについては、現在検討されている施設であり、肉用牛生産の省力化、効率化には欠かせないものである。総合計画にも搭載されている畜産生産基盤強化事業によって調査計画事業を実施し、置かれている現状、想定される可能性、農家の意向を調査し具体的な将来像を見定めながら計画的に組織、基盤の再編を進めていく。

経営安定対策の経理一元化は



新田 勝見 議員

【質問】 米の価格が低迷しており、米農家は大きな不安を持っている。遠野米の将来について市長の考は。

〔市長〕 価格対策については品目横断的経営安定対策に加入することが第一である。大阪・津田物産からは「遠野の米は全量買う」という心強い声もいただいている。この太いパイプを活

かし米作りにつなげたい。

【質問】 品目横断的経営安定対策について経理の一元化がネックとなっている。その対策は。

〔市長〕 経理ソフトを活用し、農家の負担を軽減するためJAと検討中である。

【質問】 「結いの市」については、販路拡大につながり期待している。取り組み経過は。

〔市長〕 イオン盛岡南店オープンに際し、打診がありキーテナントとして出展の運びとなった。四季折々の新鮮野菜と農産加工品が中心であるがオープンしたばかりであることから売れ筋の品目を見極めたうえで今後更に検討していく。

議員報酬について



細川 幸男 議員

【質問】 職員の諸手当や三役の給料を引き下げののに対し、議員の報酬は現状維持なのか。一緒に扱うべきと考えるが。

【市長】 今後、他市の状況を勘案し、遠野市特別職報酬等審議会の意見を参考とし、議員各位のご意見を拝聴しながら検討する。

【質問】 他市は他市として、遠野市は市民所得と比較勘案するべきであり、遠野市議会は長い間、時間制限等々と政策議論を深めることなく時間がくれば終わりとする議会運営を続けた分だけしかたがないのです。もしも、私が議長だったら率先して議員報酬は下げたでしよう。早急に議員報酬は引き下げすべきと思うが市長の考えは。

【市長】 議員各位の理解と協力をお願いしたい。

【質問】 基幹産業の繁栄なくして市の発展は無いと思いますが、行政は何を支援すれば納税してもらえるか尋ねる。

【市長】 農業を中心としながらも多様な産業の発展、収入の確保の仕組みづくりに取り組み、農業を糧として市全体の所得向上を推進する。

地域医療の充実について



萩野 茂男 議員

【質問】 地域医療の充実について、市当局の基本構想では、安心できる医療体制を図りますとあり、このような文面は、過去20年前同様の政策では医師確保は難しい。特に産婦人科医師については昔よく活躍された助産師とも併用した対応策を検討すべきだ。遠野市の心のこもった恩情に触れてみたという魅力ある環境地域づくりこそ先決である。

【市長】 総合的な医師確保対策のため4月から専任の職員を配置し地域環境づくりも含め現在具体的な対策を検討中である。

【質問】 子育て支援について、働くお母さん方が安心して子育てできるように勤務先の職場に保育施設を設置するのも一つの方策だ。その上行政としても支援策を検討すべきではないか。

【市長】 低年齢児の受け入れ、延長保育、幼保一元化等の充実等115事業に取り組んでいる。また、プロジェクトチームを設置し取り組みを強化し市民の要望に応えたい。

遠野型ツーリズム調査特別委員会報告



会津坂下町のツーリズムの取り組みを研修

遠野型ツーリズム調査特別委員会は、都市と農村の交流人口の拡大を図り、定住へと結びつける視点に立ち、市内でツーリズムの推進に努力している民宿、民泊の方々との意見交換を行い、更には、県外視察研修として5月25日から26日まで福島県会津坂下町、宮城県旧鳴子町(現大崎市)において、農家民泊や農家レストランで体験交流などを行いながら調査を実施した。

調査活動の中から、地域素材の精査、ワーキングホリデーの推進、馬と牛の活用、ツーリズムマップの作成、組織・仕組みづくりの5点について課題を提起し、これらを精査していくことにより、遠野型ツーリズムの更なる発展が可能になるものとして当委員会の報告とした。

議会運営委員会行政視察報告



男鹿市役所で議会運営について説明を受ける

議会運営委員会では、8月2日秋田県男鹿市の議会運営について視察した。男鹿市は、平成17年3月隣接する若美町と合併し、議員在任特例期間中は37人の議員数だった。

議会運営委員会の委員選出方法、執行部の出席、会期中の追加議案の取り扱い、一般質問の受付期間、請願の取り扱いの方法について説明を受けた。委員からは、議員全員協議会の開催、各種委員の選出方法、会派結成に向けての動向について質疑した。特に一般質問の通告で、当市は告示後に受け付けているが、男鹿市では常時質問通告を受け付け、発言の順序は、受付時点で抽選する方法を採用していることから、その利点等について質疑を交わし、今後の議会運営の参考とすることとした。

総務常任委員会行政視察報告



岐阜市役所で「協働のまちづくり指針」について研修した

7月4～6日まで岐阜県高山市と岐阜市を視察した。高山市では、中心市街地で10数年前から目立ち始めた空店舗を、街の賑わいを取り戻そうと市商店街振興組合連合会や市などが、経済産業省の補助金を受け平成3年に市民のためのコミュニティ施設を開設するなど、賑わい創出、景観づくり、環境・保全・地域福祉など幅広い分野で、活性化に役立つ企画提案や、まちづくり活動を展開していた。

岐阜市では、平成16年3月に策定した、「岐阜市協働のまちづくり指針」をもとに、市民がお互いに行政とそれぞれの持つ特性を生かしながら、協力し合いながら、道路・河川・公園の清掃活動や環境整備など社会的な課題の解決を図ることを目的に、活発なまちづくり活動を行っていた。また、創意工夫を生かした活動を助成する市民活動支援事業が今年度からスタートし、心と体の健康づくりや地域活動に取り組んでいる状況を視察した。

7月6～7日まで秋田県北秋田市と能代市を視察した。北秋田市の山村留学事業(長期1年間、短期(夏・冬休み))は、旧合川町で平成2年から実施していたもので、合併により新市に引き継いだ。特に教育目標を「体験学習の重視」という一つの目標を掲げ体験学習の必要性と同時に都市と農村の交流活動をしたということと最終的には地域の活性化を促進したいというのが山村留学の目的である。秋田県内の中でもいくつかの自治体がこれまで実施した経緯があるが、いま現在、北秋田市のみである。現在まで長期延べ101名、短期延べ1,579名を受け入れているが財政改革の折、費用対効果が課題とされている。

能代市「のしるすくすく子育てプラン」の取り組みについて、プラン策定作業にあたっては計画の達成目標数値の設定などはアンケート調査や市民等からの意見を反映させて目標数値を設定した。また、特に合併の時の協議でも保育料については低い方に合わせ、更にそれから国庫の基準から下げている。全体的に見ると約3割下げている。

教育民生常任委員会行政視察報告



能代市役所で「子育てプラン」取り組みの説明を受ける

産業建設常任委員会行政視察報告



東京荏原青果(株)で農産物市場の説明を受ける

6月28～30日まで東京荏原青果(株)(大田市場内)と埼玉県川越市を視察した。

東京荏原青果(株)では、現在、安全安心の農産物の供給が求められており、国産の良いものを取り引きすることに努力している。また今後の市場手数料の自由化に対応していくとしている。遠野は、野菜に限らず全国的な知名度があり、遠野ブランドとしての価値はあるが、季節や年間を通しての安定的な供給面が課題であるとのことである。

埼玉県川越市は、昔からの城下町で蔵が多く残っていたものを、昭和58年に蔵の会が発足して蔵の活用が始まり、その後行政が参画して、歴史的地区環境整備事業街路事業等としてまちづくりが始まった。現在では年間500万人の観光客が訪れており、今後より一層の宣伝に努め観光客の増加を目指している。また、この事業は商業面でも中心市街地活性化の役目を果たしてきている。

決算特別委員会 9月22日～26日

決算特別委員会(議長を除く36人の議員で構成、委員長安部重幸議員、副委員長中村桂三議員)は、決算10件の議案について付託を受けて3日間の審議を行いました。

今定例会では、新市となってからの半年分の決算が審議され、新市が実施してきた施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全10議案が原案のとおり認定されました。



委員会審議では活発な議論が交わされた

木工団地の現状と課題は

市税等の収納対策について

【質問】 税金等を徴収するため、遠野市市税等収納対策プロジェクトチームを編成して徴収しており、17年度には1,220人がかかっているが、経費はどうなのか。

【答弁】 平成15年からプロジェクトを開始し、年間3回の戸別訪問をしている。勤務時間等については勤務の割り振りで対応しており、時間外等の経費は出していない。

【質問】 設立当初は収納率も良かったが、16、17年と年々悪くなってきている。どのような協議をして進めているか。

【答弁】 地域の職員が戸別訪問するためか、長期滞納者はあまり効果がでない。そのため18年度からは短期滞納者に絞り戸別訪問を実施している。これは新たな滞納者をこれ以上出さないという視点で取り組んでいる。

斎場の整備について

【質問】 斎場の内装の整備が完了し、市民に感謝されているが、火葬が日に三回もある時は待合室が混み合い、休む場所が無く、斎場へ行く道路も狭く、場所も悪く、築後27年も経過している。炉の修理にも莫大な修繕費もかかるので、便利な場所に新築すべきと思うがどうか。計画するとすれば、いつの時期なのか。

【答弁】 新市総合計画に基づき更新をする。平成21年から23年の間に整備する計画で進めている。

【質問】 建設場所等を間違いないよう選定するために推進委員会を立ち上げて検討すべきではないか。

【答弁】 前期5カ年計画の中で、推進委員会を立ち上げ、市民の意見も聞きながら進めていく。

ホップ・タバコ等復活の考えは

【質問】 現在当市では、アスト等も立ち上がり、新しい作物の導入や産地づくりに取り組んでいる最中である。勿論それも大切ではあるが、既存の作物に目を向けた場合、例えば契約栽培的なタバコやホップは、年々衰退してきているが売り先や価格の面で比較的安定していると認識している。

ホップにおいては、かつて100haの面積であったものが現在では44haにまで減少している。メーカーとの話し合いや後継者の育成等がかつての100haまで増やす考えはないか。

【答弁】 ホップについては、初期投資額が高いとか高所での作業が多い等の理由で栽培面積が減ってきているのは事実であるが、時代に合った品種への切り替えや、企業参入等も含めた高所作業への対応なども検討して前向きに取り組みたい。

森林整備・林業振興をどう進めるか

【質問】 里山美林推進事業は市内4つの学校で取組むということで子ども達の参画がある。昔から山との関りが幼少のころから自然にあった。教育の中に山との関りをきちんと位置づけ、市民協働と併せて推進できないものか。

【答弁】 この事業の意図するところはそのとおりであり、親と子供が一緒になって取組み、教育の現場にも融合させた事業として取組んでいきたい。

【質問】 木工団地内全体の動向、経営状況と今後の課題はどうなっているか。

【答弁】 売上げでは16年度までは全体的に堅調な推移をしてきているが、経営の状況については、総じて4割は堅調であり、残りの6割は非常に厳しい状況で推移している。木造構造建築物の他市町村への普及推進を図るなど、今後の課題は大きいと考えている。

予算等審査特別委員会 9月27日~28日

予算等審査特別委員会(議長を除く36人の議員で構成、委員長細川幸男議員、副委員長佐々木幸夫議員)は、条例3件、予算9件、その他3件の15議案について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今定例会では、今年度初めての補正予算が示され、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全15議案が原案のとおり可決されました。



イオン盛岡南店に開店した結いの市

どうなる遠野インターチェンジ

健康診断について

【質問】 旧宮守村の健康診断は検診場所が少なくなり、遠くなった人もあるが受診者数は減っていないのか。また、旧遠野市の受診者数はどうか。

【答弁】 確かに、旧宮守村の検診場所は9箇所から3箇所に減っているが、受診者数は、検診料の自己負担が軽減された影響か少しだけ増えており、旧遠野市の国保加入者は有料となった影響か減っている。

【質問】 市民の健康を守るためにも多くの人々が検診を受けられるようにしなければならないと思うが今後どうするのか。

【答弁】 検診場所については、保健推進委員等の会議で意見を聞き検討する。また、検診料は財政も厳しいおり、自分の健康は自分で守るとの考えから負担をしていただくこととしている。

イオンとの契約内容はどうなっているか

【質問】 イオン盛岡南店への出店(結いの市)について、イオンからの依頼によるものか、それとも市、つまりふるさと公社からの持ちかけによるものなのか。

【答弁】 イオンのほうから県の外郭団体である財団法人岩手産業振興センターを通して話があったと聞いている。

【質問】 商いとほ飽きないでがんばろうというのが第一だ。盛岡の店舗でもがんばってほしいが、道の駅風の丘とも条件等が違うわけで、イオンとの契約内容はどうなっているのか。

【答弁】 面積は約83坪であるが、使用料等の契約の内容については、イオンとの関係もありそのまま話せない。しかし、概略としては、イオンが一般的なテナントと契約している内容と比較して、割合有利なものになっていると考えている。

遠野ICについて

【質問】 秋田・釜石道のICが綾織地区に建設予定であり、その場所については未定とのことだが、新直轄方式のもとで最終的な建設場所の決定権はどこの機関にあるのか。また、決定にあたって市や地元の考え方がどの程度反映されるものなのか。

【答弁】 新直轄方式では財源の内訳は基本的に国が3/4、県が1/4となっており最終的には国土交通省東北地方整備局に決定権がある。

市としては地元の地権者や関係者を含めて協議会を組織し、県との協議を進めながら設計段階から意向を反映させるよう努めていく。



スクールリーダーの効果は本当にあるのか

【質問】 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の中身はどういうものか。

【答弁】 地域学校安全指導員を配置するというもので、児童生徒が安心して学校教育を受けられるよう1名のリーダーを委嘱し、各地区のボランティアの見守り隊への指導等も含めて委嘱をお願いするものである。

【質問】 上郷町ではすでに防犯協会を中心にスクールガードボランティアの活動が展開されているが、たった1名のリーダーの委嘱に50万円という事業内容は、遠野の面積などを考えるとその効果に疑問がある。

【答弁】 この事業は文科省のものであり、それを県が各市町村で取り組むようにとのことで取組んだ事業である。現在、スクールリーダーの選定中であるが、警察官のOBの方々などがいいのではないかと考えている。

請願審査報告

今定例会には3件の請願が提出され、6月議会で継続審査になっていた1件と合わせて審査しました。

各委員会における審査及び本会議における議決結果は以下のとおりでした。

■住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める請願

〔請願者 岩手県労働組合連合会議長 菅野 恒信 外1名〕

審議結果 不採択

■岩手県立遠野病院の縮小再編に反対し、医師確保をはじめとした病院機能の充実・強化を求める請願

〔請願者 岩手県医療局労働組合遠野病院支部 支部長 大久保 忠吉〕

審議結果 採択

■「品目横断的経営安定対策」の要件緩和を求める請願

〔請願者 遠野市農民組合代表者 阿部 喜一〕

審議結果 継続審査

■行き詰まったWTOに代わる、食糧主権にもとづく貿易ルールと農業・食糧政策の確立を求める請願

〔請願者 遠野市農民組合代表者 阿部 喜一〕

審議結果 継続審査

○請願の取り下げ

■「品目横断的経営安定対策」にかかわる請願

(再提出があったため)

議員発議案

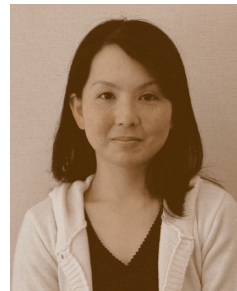
今定例会には、2件の発議案が提出され、原案のとおり可決しました。可決した意見書は以下のとおり。

■岩手県立遠野病院の縮小再編に反対し、医師確保をはじめとした病院機能の充実・強化を求める意見書

■トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書

意見書の送付

今定例会で可決した意見書2件は、平成18年9月29日付け、遠野市議会名で内閣総理大臣、厚生労働、国土交通各大臣、岩手県知事・医療局長あてに送付しました。



わたしの ひとこと

遠野の 魅力発掘を

佐藤亜紀さん（宮守町下鱒沢）

遠野に来て早くも半年。様々な活動を通し、今まで知らなかったことを知り、体験したからこそ理解でき、自分の“引き出し”が増えていくようで、勉強になる貴重な時を送っています。

今は、都会と農山村地域、それぞれの思い込みによって生じるマイナスをどうプラスに導いていくのかに興味を持っています。

今年接したもののしか知らない私にとっては、この1年で触れるもの全てが良くも悪くも遠野市の印象として残ります。去年こうだったから、自分達はこうだから「これでいい」ではなく「これがいい」とアピールできる遠野の魅力を、自分の視点で発掘していきたいと思っています。

12月定例会の予定

◆定例会は12月8日(金)開会の予定です。

詳しくは議会事務局まで。

○議会へのご意見、ご要望をお待ちしております。

議会事務局62-2111(内線271)

gikai@city.tono.iwate.jp

Information

編集後記

合併特例での任期は10月いっぱい。最後の定例会となった。財政難の中での引き継ぎとなる。それにしても耳慣れない字句が出てくる。市民協働・遠野スタイル・日本のふるさと遠野・ワーキンググループ、そして10月人事異動での「地域経営改革担当」の登場。簡潔で分かり易いことが望まれる。市役所は主人公である市民をお世話する所なのだ。「行政改革」の言葉は一切使わずに、市政運営の改善策を次々に打ち出せばいいのだ。

あれもこれも「薔薇色予算」から、いわゆる「ダイエツト予算」での健康保持が重要だ。財源不足をよく市民に説明して、更に地域づくりの充実に取り組もうと訴えることだ。「協働」の言葉は不要とも言える。

議会は、合併後初の選挙による22人にバトンタッチとなる。年度内には宮守町にケーブルテレビが拡張され、情報の共有化が進む。文字による議会広報充実にも期待がかかる。(初)